

[要点]

- (1) 裁判には、土地争いや金銭の貸し借りなどの民事裁判、犯罪を裁くための刑事裁判、そして国や地方公共団体と国民の間におこった争いを取り扱う行政裁判の3つがある。裁判所に訴えた人を原告、訴えられた人を被告という。弁護人は裁判の際に手続きを行ったり、訴えた人や訴えられた人を助ける。
- (2) 逮捕を行うためには、現行犯の場合以外は裁判官の出す逮捕令状が必要である。警察官から送致された被疑者を取り調べるのは検察官である。被疑者には、黙秘権と弁護人を依頼する権利がある。検察官は取り調べ後、裁判所へ起訴する。検察官が原告となり、訴えられた者が被告となる。

[A問題：要点確認]

- (1) 裁判には、土地争いや金銭の貸し借りなどの()裁判、犯罪を裁くための()裁判、そして国や地方公共団体と国民の間におこった争いを取り扱う()裁判の3つがある。裁判所に訴えた人を()、訴えられた人を()という。()人は裁判の際に手続きを行ったり、訴えた人や訴えられた人を助ける。
- (2) 逮捕を行うためには、()犯の場合以外は裁判官の出す()が必要である。警察官から送致された被疑者を取り調べるのは()である。被疑者には、()権と()を依頼する権利がある。検察官は取り調べ後、裁判所へ()する。検察官が()となり、訴えられた者が()となる。

[B問題]

- (1) お金の貸し借りや土地の売り買いなどをめぐって争われる裁判の種類を何というか。
- (2) 犯罪の事実の有無を判断し、有罪であれば刑罰を科す裁判を何というか。
- (3) 国や地方公共団体と国民の間におこった争いを取り扱う裁判を何というか。
- (4) 裁判所に訴えた人を何というか。
- (5) 裁判所に訴えられた人を何というか。
- (6) 裁判の際に手続きを行ったり、訴えた人や訴えられたりした人を助けるのは通常どのような人か。

[解答]

- (1) 民事裁判 (2) 刑事裁判 (3) 行政裁判 (4) 原告 (5) 被告 (6) 弁護人

[C問題]

ア～ウの文はa民事裁判かb刑事裁判のどちらか記号で答えよ。

ア 17歳の高校生3人が、55歳のホームレスの男性を登呂公園で襲い、重傷を負わせたとして警察に逮捕された。

イ 元恋人に80万円を貸したが、借りた覚えはないと言って返してくれない。

ウ 17歳の少年が襲われ、全治一ヶ月の重傷を負った。容疑者として55歳のホームレスの男性二人が逮捕された。登呂公園の襲撃事件の報復と見られる。

[解答]

ア b イ a ウ b

[B問題]

- (1) 現行犯以外で逮捕を行うために必要なものは何か。
- (2) 刑事事件がおこると警察官が罪をおかした疑いのある()を逮捕する。
- (3) (2)の者は、自分に不利なことを話すように強要されない。この権利を何というか。
- (4) 警察官から送致された(2)の者を取り調べるのは誰か。
- (5) 刑事裁判で被疑者を裁判所に訴える人(原告)は誰か。
- (6) 刑事裁判で被疑者を裁判所に訴えることを何というか。
- (7) 刑事裁判では、秘密裁判は禁止されているが、この権利を何というか。

[解答]

- (1) 裁判官の出す逮捕令状
- (2) 被疑者
- (3) 黙秘権
- (4) 検察官
- (5) 検察官
- (6) 起訴
- (7) 公開裁判を受ける権利

[C問題]

- (1) 犯罪の捜査や被疑者の逮捕を行うのは誰か。
- (2) ()の場合を除いては、裁判官が出した令状なしには逮捕されない。
- (3) 被疑者の権利を2つあげよ。
- (4) 被告人の人権を守るための刑事裁判における原則を2つあげよ。
- (5) 無実なのに犯人とされることを何というか。
- (6) 被告人が、裁判の結果、無罪の判決を受けたとき、どのような権利があるか。

[解答]

- (1) 警察官
- (2) 現行犯
- (3) 黙秘権、弁護人に依頼する権利
- (4) 非刑法定主義、証拠裁判主義
- (5) えん罪
- (6) 国に刑事補償を請求できる

【問題】

- (1) 「すべての裁判は非公開で行わなければならない。」(正誤問題)
- (2) 「裁判官の出した令状れいじょうがなければ、どんな場合でも、国民は逮捕たいぼされることはない。」(正誤問題)
- (3) 「未成年者の犯罪についての審判は、原則として簡易裁判所かんいで行われる。」(正誤問題)
- (4) 「裁判においては、自己に不利益な供述を強要されない。」(正誤問題)
- (5) 「刑事裁判において、自白だけが証拠しやうこである場合は、有罪ゆうざいとなることはない。」(正誤問題)
- (6) 「裁判所には、行政機関の行為が憲法に違反しているかどうかを判断する権限は与えられていない。」(正誤問題)

【解答】

- (1) × : 非公開 公開 (2) × : 現行犯げんこうはんの場合は逮捕令状は不要 (3) × : 簡易裁判所 家庭裁判所
(4) (5) (6) × : 与えられていない 与えられている

[印刷 / 他のPDFファイルについて]

このファイルは、FdText社会の一部をPDF形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版のFdText社会はWord(または一太郎)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

弊社は、FdTextのほかにFdData中間期末過去問(社会・理科・数学)(各18,000円)(Word版・一太郎版)を販売しております。PDF形式のサンプル(全内容)は、

<http://www.fdtype.com/dat/> に掲載しております。

下図のような、[FdData無料閲覧ソフト(RunFdData)]を、Windowsのデスクトップ上にインストールすれば、FdData中間期末・FdData入試の全PDFファイル(各教科約1500ページ)を自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

RunFdData(Word版) 【 <http://www.fdtype.com/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

RunFdData(一太郎版) 【 <http://www.fdtype.com/lnk/instRunFdDataTAs.exe> 】

ダイアログが表示されたら、【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd教材開発 : URL <http://www.fdtype.com/dat/> Tel (092) 404-2266】